

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677100168
法人名	有限会社 健やかクラブ
事業所名	グループホーム 元気
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町細山田5340番地2 (電話) 0994-31-0161
自己評価作成日	平成26年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・園芸療法を中心に広い敷地を利用して家庭菜園を作り、日々の料理に利用したり、花を作り(種まきから育苗等)利用者様と共に草取りや収穫を行っている。家庭的な雰囲気の中で、元気の名の通りスタッフ入居者様ともに朗らかに日々の生活を送っています。更に、ここの生活のレベルに合わせ、強制することなく我が家のごとくのんびりと生活できている。また、栄養士を中心にカロリー計算を行い栄養が偏らないように工夫を凝らしている。更に、食後の口腔ケアは歯科衛生士の指導の下、ここの対応がしっかりと出来ている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・「心こそ大切なれを基本に地域に根ざし、地域と共に生活をしていきます」を理念とし、地域行事への招待を受けたり、地域住民から手まりやタオルの寄付や会議に参加してもらっている。
 ・敷地内に広い菜園があり、利用者と一緒に収穫を楽しんでいる。地域の夏祭りや敬老会へ参加をしたり、ホームへも近隣の人や子供達が訪れ、お茶を飲みながら、話しをしたり、利用者と一緒に遊んだりしている。
 ・運営推進会議は定期的に行なわれ、地域との情報交換や運営についての示唆を受けている。
 ・利用者や家族から重度化や終末期について、このホームで対応して欲しいとの声が多く、看取りの経験もあり、段階的に家族と医療と連携して対応している。
 ・家族会の時、防災訓練を行い、消防署の指導のもと、家族や地域の人も消火訓練に取り組んだり、ホームの実情を理解してもらい消防署や参加者から意見や提案をもらっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時にスタッフで唱和し確認自覚する。毎月の職員会議でも理念の再確認をしている。	理念を玄関や台所に掲示し、いつでも振り返り確認できるようにしている。申し送りや職員会議で唱和し、理念を意識してケアに努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ホームの行事の時招待状を配り参加を呼び掛けている。町内会の夏祭りや敬老会等招待を受けて参加をしている。また節分の日には手作りの手巻き寿司を近隣に配っている。	自治会に加入し、地域の情報を得たり、夏祭りや敬老会などに参加している。近隣住民や地域の関係者が参加してホームの災害訓練の協力がある。近所の子供達やボランティアの来訪もあり交流を日常的にしている。近所から野菜の差し入れやタオルなどの寄付もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近隣の方がいつでも立ち寄られるように普段から声掛けを実践している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に運営推進会議を実施し、サービスの状況報告し会議での意見などを参考にしサービスの向上に活かしている。	会議は定期的開催し、事業所の現況報告や外部評価結果報告をして活発な意見や情報交換をしている。会議の内容を職員に書類で回覧し、必要に応じサービス向上に活かしている。年2回は避難訓練を兼ねて開催している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議等に参加している。更に、施設庁や管理者が行政に出向き情報交換や指導等受けサービスの向上に努めている。	行政の担当窓口に出向き、相談や報告・情報交換をしている。市主催の研修に参加し連携に努めている。ホーム便りを市へ送付する等、ホームの取り組みを積極的に伝えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を開催し、期間を設定経過記録を記入しご家族の同意を得ている。また、徘徊者が出ても玄関やドアにチャイムをつけたり、スタッフが常に目配り気配りをしている。	マニュアルを作成し、身体拘束廃止委員会を中心に、「身体拘束はしない」を基本に具体的な行為を確認している。日中、職員が必ず1人はリビングに居て、玄関の施錠はせず、外出希望者には、散歩やドライブを共に行っている。地域住民にも見守りや連絡の協力依頼をして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市町村及びグループホーム連絡協議会の勉強会等に積極的に参加し、職員会議等で報告している。事業所内の勉強会も開催している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内の勉強会や市及び包括支援センターの勉強会に参加し職員会で報告し情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>文書に手ホームの運営方針等丁寧に説明している。退所時は各関係機関と連携し、ご家族の方が安心できるようサポートをしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱設置したり、苦情受付窓口を設置し、いつでも対応できるように体制をとっている。</p>	<p>利用者からは日常生活の中で思いを聞いている。事業所内で行なわれる敬老会やクリスマス会等の時に、家族の意見を聞いている。面会時には職員から声をかけて状況報告を行い、要望等を気軽に話してもらえよう努め、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送り帳を利用したり、月1回の職員会議の中で意見などを聞いたりして運営に生かしている。</p>	<p>毎月の職員会議や申し送り帳で意見等を聞いている。個人的な相談等は理事長や管理者が細やかな気配りで対応しており、勤務についても何でも相談できるように努め、意見や提案が反映されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意見を多く取り入れて働きやすい環境を作っている。また、何でも相談できる雰囲気がある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外美研修に参加したり、ホーム内の研修を実施し研鑽をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡協議会主催の勉強会で相互間の意見交換して、サービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の面接時優しい言葉使いと態度で接し、不安感を与えないようにしている。出来る限り本人の要望を受け入れられるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の方が安心していただくように分かりやすく丁寧に説明しやさしい言葉使いと真摯な態度で接し、ご家族の要望を受け入れられるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族の情報を収集し必要に応じて、他の機関と連携を図ってサービス利用に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の意思を尊重し、強制するのではなくコミュニケーションを心がけ趣味・レジャー・調理の下ごしらえや行事などともに協力し、助け合うことに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	通院や外出、また、お盆や正月の一時帰宅や外泊を負担のない範囲でご協力を頂いている。更に、ホームの行事や元気便り、面会電話などでお知らせしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつでも外出・外泊が自由にできるようにしている。また、いつでも面会に来ていただけるように開放している。	家族の協力を得ながら、墓参りや親戚・知人などに会いに行き、これまでの関係が途切れないように支援している。ホームでも本人の希望に添って、ドライブを兼ねての自宅訪問や行きつけの理美容院等の利用を支援している。面会者も多く、楽しく交流している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共に台所作業をしたり、洗濯物干し方や畳み方、また、共にレクに声掛けし参加していただいている。歩行可能な方は、下膳の手伝いや運動の時、車いすを押し頂いている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもご家族へ電話をして現在の状況をお聞きしたりして関係を維持している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族から得た情報や日ごとのコミュニケーションの中で、希望することを来たり、勧めたりしている。(買い物や食べたいもの、したいこと等)	日常の生活の中で、表情やしぐさなどから思いをくみ取ったり、生活歴などを聞き、細かく記録している。把握が困難な場合は家族からの情報を得て、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報を基にして、今までの生活歴を重視し、ケアカンファレンスを開催してサービス利用に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の介護記録や申し送り帳に記入し、職員会議や緊急ミーティングを実施している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントに基づき具体的なケアプランを作成している。必要に応じてスタッフがミーティングをし、よりよいケアが出来るようにしている。	本人や家族・主治医・職員の意見を基に、介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、必要時や3ヶ月毎に計画を見直している。ケアプランノート各居室に置き、家族にも見ってもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の介護記録を毎日記入し、申し送り帳利用してスタッフ全員が情報を共有できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の要望を受け入れて、GHも特性を生かして一人一人が自然な形で持っている力を発揮して暮らしていけるように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族や職員の紹介などで楽器演奏や舞踊等に来ていただいたり、ボランティアで話し相手に来ていただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時を含む24時間の医療連携を確保し、月2回のDrの居宅療養管理指導で適切な医療受診を支援している。	本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関から月2回の往診や緊急時等の24時間医療連携体制により、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日のバイタルチェックや介護記録を基に、異常があればその都度Drまたは看護師の指示を仰ぎ必要があれば往診や受診をしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>連携医療機関を確保し、MSWと連携を図ったりその状況を聞いたりし関係作りを出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>連携医療機関のDrやご家族と普段から話し合いスタッフ全員で方針を共有している。25年度もお一人ホームで看取りをさせていただいた。今回で2例目です。</p>	<p>契約時に重度化や終末期の対応について説明し、同意書ももらっている。重度化等の場合は段階的に、医師の指示及び家族の意向に添って、支援に取り組んでいる。今までに看取りの事例がある。現在も体制を整えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の協力を得て、ホーム内で研修したり、外部研修に参加している。職対応の訓練を実施している。また、緊急連絡網も掲示しいつでも連絡し合えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急対応マニュアルを作成し周知徹底をしている。消防職員、地域消防団長や地域住民の方に参加をいただき、消火・避難訓練を実施している。	消防署の協力で年2回、昼夜間想定消防避難訓練を実施している。運営推進会議や家族会を兼ねて実施し、地域住民の参加もある。スプリンクラーが設置されており、非常用の備蓄もある。地域住民や家族も消火器の取り扱いや避難を実際に体験している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	他人と関わりを持ちたくない人や無口な人などには、無理強いをせず、居室でゆっくり過ごしていただいたり、その都度、スタッフが声掛けをしている。	利用者それぞれが自由に生活して、尊厳やプライバシーを守り、個別的に、会話や様子観察をして、日常生活の対応をしている。トイレ誘導時のさり気ない声かけ等、利用者の気持ちを傷つけない対応に努めている。記録や面会簿の取り扱い等、個人情報管理を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一つ一つの出来事に声掛けし、お礼の言葉掛けしたり、好みのおかずや食べたい物の希望を聞いたり、行きたい所を聞いたりしてなるべく希望に添えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自由に散歩、外出フロアでくつろぐ等、様々なスタイルが保てるよう一人一人のペースを大事にしている。レクリエーションや歩行訓練・稼働域訓練等実施し筋力維持に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分の意思表示が出来る人は衣類購入の時など自分で選んでもらったり、女性の方にはマニキュアや手作りの指輪をつけて揚げたりしている。爪切りやひげそり等出来ないところはスタッフが支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好みの食べ物を聞き好みに応じた食事を作ったり、準備や後片付け等、お手伝いをいただいている。また、時期には外食等しながら喜んでいただいている。	菜園の野菜を収穫したり、調理の下ごしらえ等を、利用者と職員が一緒に行っている。食事も職員と共にしている。誕生会は好みの献立にしたり、季節を感じる行事食や外食等、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士を中心にカロリー計算を行い目標量を確保できるように献立に工夫をしている。水分摂取時はその都度記録し、必要に応じて補給していただく。個々に応じて刻み食・トロミをつけたりして対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士の管理の下、起床時のうがい歯磨き食事前のお茶でのうがい、夕食後は義歯清掃消毒をしている。また歯科医との連携を取り必要に応じて往診を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	おむつゼロを目指し、個々の排泄時間を記録、時間を見計らって声掛けしトイレ対応してる。	オムツ外しやトイレでの排泄支援に積極的に取り組んでいる。常にさりげない声かけをしてトイレ誘導をしている。オムツから布パンツになった利用者の改善が見られている。常に排泄パターンを記録し、おむつゼロを目指している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の重要性を入居者様にも説明し1日の水便補給量の目安立てている。また植物繊維の多く含んだ献立や適度の運動行っている。更に、処方された服薬など用いて排便コントロールに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴時に一人一人のタイミングを見て声掛けし、希望の時間帯にゆっくりと楽しみながら入浴できるように支援している。	週3回の入浴を、利用者の好きな時間に、職員と会話をしながらゆっくり入浴を楽しんでいる。身体状況等によって、安心して入浴できるよう複数での介助を実施し体制を整えて、希望を聞いたり、いつでも入浴ができるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日その日の生活状況、生活習慣を把握し、和室や居室でゆっくりして頂いたり、睡眠剤が必要な方には、用いて安眠していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情報をファイルにしている。1回分ずつ薬局にて分包していただき、服薬確認、症状の変化確認等に努めている。また、薬剤師による服薬の基礎学習をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	朝の掃除時、歩行可能な方は自分の居室の掃除をしていただいたり花壇の手入れや草取り等お手伝いを貰っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気のいい日は散歩や短時間ドライブに行ったり、女性の方には近くのスーパーに買い物に同行し、食料品や日用品を購入したりしている。また、ご家族の協力をいただき墓参りや外出外食等実施している。</p>	<p>日常的に天候や体調・希望を聞いて、近隣を散歩したり、近所の商店に買い物に出かけている。地域の行事の花見や夏祭り・敬老会等に参加したりして楽しんでいる。家族の協力も得ながら一緒に墓参りや外食にも出かけている。多くの機会に外出できるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>殆どの方がお金は所持していない。必要に応じて使うときはホームで立て替えて使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>個々に応じて自由に電話が出来る体制をとっている。ダイヤルしてあげてから手渡すなどしている。ご家族からの電話も取り次ぎ喜んで貰っている。また、年賀状や暑中見舞い状を等スタッフと手作りし出せるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季の移り変わりには貼り絵、雛飾り、こいのぼり等掲げたり、眼乳にも取り入れている。季節の変化を視覚・味覚で感じてもらっている。	リビングは明るく陽光が差し込み日向ぼっこができる。自然の風を取り入れたり、温度や湿度も適度に調整され、空気清浄機で環境が整えられている。掃除が行き届いて清潔である。季節感のある花が玄関に活けてある。和室には雛壇が置かれ、窓から眺められる花や木々も季節を感じる工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室であり、ホール内にソファアームを置いたり、和室をあり自由に過ごせるようにしてある。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様一人一人使い慣れた生活用品が持ち込まれている。お仏壇や位牌等居室に安置されている方もいらっしゃる。	居室は本人と家族で話し合い、使い慣れた家具やテレビ・小物・写真・仏壇等を置き、本人が落ち着いて過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いすでも医療出来るようにスペースを広くしている。また、歩行の不安定な方もホール内に手すりを設置し安心して生活出来るようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない